

# うきにしだより



9月に入っても、まだまだ陽ざしは相変わらず——今年は“酷暑”と言ってもいいくらいの日が続きました。そんな中、PTAの文化推進部の方が交替で花の水やりを続けていただき、花メイトの子どもたちが育てている花壇には色とりどりの花が咲いています。暑い中、本当にありがとうございました。

2学期は77日間、子どもたちそれぞれが立てた目標に向けて、じっくりと取り組み、実りを実感できる時間を積み重ねていきたいと思います。

## 平和集会 ～浮西小から平和への願いを込めて～

8月9日(木)の登校日に6年生が平和集会を行いました。

78年前の8月9日に長崎に原子爆弾が投下されたことや広島平和記念公園にある「原爆の子の像」のモデルになった佐々木禎子さんのことを、テレビ放送で伝えました。病気が治り退院する願いを込めて、禎子さんが折り鶴を折り続けた話を紹介した後、浮孔西小学校でも平和への願いを込めて折り鶴を折ろうと呼びかけました。そして、グループに分かれて、1～5年生の教室で、それぞれの教室の子どもたちと一緒に折り鶴を折りました。今年、広島の平和記念式典で、広島市の小学生が「平和への誓い」の中で、次のような言葉を発信しました。

1年生の  
教室で



テレビ画面を通して、  
全校呼びかけました。



「私たちにもできることがあります。  
自分の思いを伝える前に、  
相手の気持ちを考えること。  
友だちのよいところを見つけること。  
みんなの笑顔のために  
自分の力を使うこと。」

歴史をふりかえり、身近な生活の中にある平和について考えていきます。

この日、折ったこの折り鶴は、6年生が1羽ずつつなぎ、千羽鶴にして、9月28日(木)・29日(金)の修学旅行で訪れる広島平和祈念公園の原爆の子の像に捧げる予定をしています。



### — 佐々木禎子さん —

広島で2歳の時に被爆し、10年後に白血病を発症し、8ヶ月の闘病の末、12歳で亡くなりました。

元気になって家に帰ることを信じて、1,000羽を超える鶴を折り続けたそうです。

原爆の子の像は、禎子さんの友人たちの呼びかけで建立されました。

毎年、全国から平和への願いを込めた千羽鶴が、この像に捧げられているそうです。